

令和2年度 事業報告書
(2020年度)

学校法人 箕面学園

I. 学園概要

1. 設立目的

天賦の才能を十分に伸ばさせるとともに、男女それぞれの特性を生かし、品性の高い教養ある人間を育成する。穏健な思想、円満な良、国家社会のよりよき一員をたらしめる。

2. 学園沿革

昭和21年	3月	財団法人箕面高等女学校設置認可 開校
昭和23年	4月	学制改革により箕面学園中学校、高等学校を開設 現在地に新校舎を竣工、移転
昭和24年	4月	箕面学園附属幼稚園を開設
昭和26年	3月	学校法人箕面学園に組織変更
昭和28年	4月	大阪学芸大学(現・大阪教育大学)の指導により 箕面学園幼稚園教員養成所開設(後・箕面学園福祉保育専門学校)
昭和31年	4月	箕面学園幼稚園教員養成所を同保育専門学校に改称
昭和38年	4月	鉄筋コンクリート造3階建南館、増築
昭和39年	3月	鉄筋コンクリート造4階建本館、増築
昭和40年	1月	体育館兼講堂等鉄筋コンクリート造地上3階地下1階
昭和50年	12月	保育専門学校 新校舎竣工
昭和51年	4月	附属幼稚園 新園舎竣工
昭和58年	3月	図書館(以文館) 新築竣工
昭和61年	3月	創立40周年記念 光風館新築竣工
平成4年	2月	高校セミナーハウス(湖西学舎)新築竣工
平成6年	6月	茨木グラウンド(茨木市泉原) 竣工
平成9年	10月	創立50周年記念式典挙行
平成10年	4月	池田キャンパス開設(作業療法学科新設)
平成26年	10月	北館、南館、保育専門学校、幼稚園 耐震補強工事竣工
平成27年	10月	本館耐震補強工事及びトイレ等改修工事竣工
平成27年	11月	創立70周年式典並びに祝賀会を挙行
平成28年	8月	高等学校食堂リニューアル改修工事竣工 理事長室、学園事務室改修工事竣工
平成29年	8月	グラウンド人工芝化竣工
平成30年	10月	高等学校クラブハウス竣工
	10月	幼稚園増築棟、既存保育室リニューアル工事竣工
平成31年	4月	幼稚園型認定こども園箕面学園附属幼稚園 認可
令和元年	9月	東館一部改修(支援教室)
令和2年	10月	北館体育館改修工事竣工、空調新設

3. 役員の概要 (令和3年3月31日現在)

理事 6名 監事 2名 評議員 13名

4. 法人設置校及び施設

「箕面学園高等学校」 普通科総合選択制 箕面市箕面7丁目7-31

「箕面学園福祉保育専門学校」 保育科、介護福祉科、作業療法学科
箕面キャンパス 箕面市箕面7丁目7-31
池田キャンパス 池田市八王寺1丁目1-25

「幼稚園型認定こども園箕面学園附属幼稚園」
3年保育 箕面市箕面7丁目7-31

「箕面学園第二グラウンド」 茨木市泉原39-1

「箕面学園湖西学舎」 滋賀県大津市和邇中357

5. 経費

- (1) コロナ感染対策のため、非接触体温計、消毒液、マスク等の購入を強化し、
備蓄用も購入したため経費が増額したが、一部国の補助金により購入した。
- (2) 購入物品等は稟議書にて諮る事で経費の削減に努めた。

6. 施設整備事業

- (1) 高等学校 北館体育館の全面改修及び空調新設を行った。
- (2) 高等学校 東館3階にPTA室を移転するのに伴い、改修を行った。
- (3) 幼稚園 東館3階の後援会室の改修を行った。

7. 学校評価への取り組み

幼稚園、高等学校で、PDCAに基づき学校評価、学校関係者評価を実施し
公開する。

8. 法人業務の取組

令和2度はコロナ感染症により、書面による議案承認等も含め理事会を3回、
評議員会を2回開催し、学園の情報共有や様々な課題について議論を行った。
また、私立学校法改正に伴い学校法人箕面学園の寄附行為、役員名簿等を高等
学校HPに更改した。

Ⅱ. 箕面学園高等学校

1. 令和2年度 募集人員

210名 普通科総合選択制

2. 令和3年度在籍数予定（令和3年4月1日現在）

1年 217名

2年 168名

3年 173名

合計 558名（男子466名、女子92名）

3. 生徒募集

- (1) 渉外担当者による渉外活動（広報活動）を強化し、高等学校管理職とのミーティングを実施し情報共有に努めた。
- (2) コロナ感染症対策を実施した上で、オープンキャンパス4回、入試説明会2回実施した。
- (3) 入試を4回実施し、合計217名の入学者を確保した。

4. ICT化

コロナ感染症による緊急事態宣言下、休校により通常授業を行うことが困難となり、レターパック等で授業課題を送付し対応したが、ICT化推進もあり、各教室で見ることができるよう、ライブ配信を可能とした。

また、タブレット端末を購入し緊急事態宣言等により休校となった場合に対応できるように整備も行った。

4. 環境整備

- (1) 消防法の適合に向けて順次改修工事を行った。
- (2) 受動喫煙防止法改正により、学園敷地内の完全禁煙化に努めた。
- (3) 危険箇所の点検、整備を行った。

5. 教職員研修

人権研修、ハラスメント研修、教職員の意識改革研修等を実施し、教職員間での情報共有を行い、教職員の意識、教育の質の向上に努めた。

6. 高大連携協定

大阪学院大学、短期大学 H24.5

芦屋大学 H26.3

大手前大学、短期大学 H26.3

8. 生徒の各推移

(1) 転退学率推移

年 度	期 首	離脱数	期 末	離脱率
H 2 9	5 0 2	3 0	4 7 2	5. 9%
H 3 0	4 4 3	2 5	4 1 8	5. 6%
R 1	4 5 1	2 5	4 2 6	4. 5%
R 2	5 0 3	2 0	4 8 3	4. 5%

(2) 令和2年度 進路状況 142名卒業

① 大学（抜粋）

近畿大学	1名	桃山学院大学	1名
藍野大学	2名	追手門学院大学	4名
大阪学院大学	11名	大阪経済法科大学	1名
大阪芸術大学	1名	大阪人間科学大学	1名
大阪国際大学	2名	大阪産業大学	1名
大阪商業大学	1名	大阪電気通信大学	3名
大手前大学	3名	岡山理科大学	1名
関西国際大学	1名	神戸国際大学	2名
至誠館大学	2名	相愛大学	3名
大成学院大学	2名	宝塚医療大学	1名
中部学院大学	1名	帝塚山大学	1名
東亜大学	1名	奈良大学	1名
花園大学	2名	摂南大学	2名
福井工業大学	3名	びわこ成蹊大学	2名

② 短期大学

大阪成蹊短期大学	1名	大阪芸術短期大学	1名
湊川短期大学	1名	姫路日ノ本短期大学	1名

③ 専門学校

箕面学園福祉保育専門学校他45校 50名

④ 斡旋就職（抜粋）

ダイハツ工業、伊藤ハム、資生堂、敷島製パン、山崎製パン
 センコー、石川ペイント、コジマ電機、ダイハツメタル
 ヤマト運輸、アヤハディオ、富士シート、カクヤス
 大阪デリバリー、サカイ引越センター、総合電装、山文商事 他

Ⅲ. 箕面学園福祉保育専門学校

1. 広報活動

- (1) HPの活用を充実させ、今後SNSを利用した広報活動に向け、意思疎通を図りながらHPを更新している。
- (2) 指定高校対策の強化、精査を行い、より効率的な高校訪問活動を強化した。
- (3) 社会人への広報活動を強化し、資格取得への道のPRに努めた。

2. 大阪府委託訓練事業の申請により介護科1名が入校し、保育科6名が修了した。

3. 継続する施策

「清掃を中心とする環境整備」、「就学支援金」については、引き続き有効なものとして継続した。

(1) 学内奨学金の授与

卒業式で「学園長賞」、入学式で、在校生に「学園長賞」を授与した。

(2) 文部科学省中央教育審議会実施視察、および課程認定校の申請に対する下記の準備を順次進めた。今後も継続して進めていく。

- 1) 全学的組織の確立と諸規定(カリキュラム委員会規定含む)の準備
- 2) 教育課程、履修方法およびシラバスの整備
- 3) 教育実習の実施計画、教育実習校の選択・連絡等
- 4) 施設・整備等の整備(図書の実、教員研究室、就職支援室の整備)
- 5) 就職指導の徹底
- 6) 指導大学(大阪教育大学)および教育委員会等との連携強化
- 7) 学校現場体験・学校支援ボランティア活動の強化(附属幼稚園との連携強化：例年の運動会に加え、食育活動・合同避難訓練等

4. コロナ感染症によりオンライン授業等の取組を行った。

5. 諸規定並びに内規等の全面見直し、改訂、作成を実施した。

IV. 箕面学園附属幼稚園

1. 園児募集活動の展開

ホームページやクラスだよりにより教育活動の「見える化」を工夫し発信しつつ、プレ幼稚園、かるがもで一の取組内容の充実と発信に工夫を図った。
また、在園児及び保護者の信頼と満足感こそ最大のPRとの認識のもと、4月の臨時休園中にも、動画配信やメール発信を頻繁に実施した。

2. 安全・安心の確保

ICタグ、防犯カメラ、ココセコムの導入等、安全面の充実ぶりや、毎月の避難訓練、日常においても施設等の点検・保守活動の広報と安全管理に努めた。
しかし、毎週金曜日の消毒作業を実施し続けたように新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すのに尽きる1年でもあった。

3. 研修の充実と実践的指導力の向上

教職員の資質こそ最大の教育環境の認識のもと、研修を大切にしてきた。
しかし、コロナ禍で外部研修への参加が大幅に制限され、恒例の研究保育も未実施し、そこで、週案の交流と振り返りの充実を図り、子ども理解と実践的指導力向上に努めた。

4. 教育充実費にふさわしい開かれた幼稚園づくりと説明責任

園活動を充実させながら、園の考えも、ホームページや月1回の園便り、週1回のお知らせ・学級だより等での発信に努める。
自己評価の情報公開も実施し、高等学校、福祉保育専門学校、地域の小学校や関係機関との連携に努めた。

5. 円滑な園運営と子育て支援

箕面市等行政機関との連携に努め、業務の円滑な遂行に努める。
また、預かり保育も早朝7時半開始とし、週1回の子育て相談や「かるがもで一」、キンダーカウンセラー事業等と併せて子育て支援の充実を図った。

6. 教職員のワーク・ライフ・バランス対応

教職員の処遇改善とワーク・ライフ・バランスのとれた働き方改革に努めた。
また、そのことを通じて、新規採用の人材確保と育成、定着を務めたが課題は残る。